

島中だより

教育目標
学ぶ意欲にとみ
心豊かで たくましい生徒

八戸市立島守中学校
TEL 83-2011
文責 校長 竹花 和人

社会の様々な問題について関心をもとう

校長 竹花 和人

※9月1日（金）の全校朝会講話より

今年の夏休みは例年とは異なる様々な出来事が起こりました。始業式で話した気象問題のほかに、「北朝鮮とアメリカ合衆国との対立」や「バルセロナでのテロ事件」など、世界平和を脅かすような出来事が起こりました。また、アメリカ合衆国では「白人至上主義者とその反対者による衝突」が死者がでるほどの問題となり、それに対する大統領のコメントにより対立が激化する事態となっています。さらに、2学期に入った8月29日早朝には、北朝鮮が北海道上空を通過するミサイルを発射するなど、日本国民の生命が直接的に脅かされるような問題も発生しました。

このような国と国が対立する問題や思想の異なる人同士の対立問題などは、簡単に解決できるものではありません。しかし、この問題は私たちに関係ないと考えることは間違いで、むしろ積極的に考える必要があると私は思います。

そこで、私たちがこのような問題解決のため何ができるのかを考える前提として、世界平和に積極的に取り組んだ人物の生き方を学ぶため、今日はマザーテレサという人物を紹介します。マザーテレサは、カトリック教会の修道女で、修道会「神の愛の宣教者会」を創立した人です。普通の修道女は、あくまでも修道院の中でのみ生活しますが、マザーテレサは困っている人々を直接救いたいと考え、病人や瀕死の人々の保護・孤児救済の施設をカルカタ（現コルカタ）をはじめ世界各地に設立したり、行き倒れの人や重症の人を収容する「死を待つ人々の家」を設立したりして、インドを中心に世界の貧しい人や病で苦しんでいる人々の気持ちに寄り添った活動を行いました。貧しい人や病気の人々など社会的弱者のために地道な取組を続けたことで、「世界中の人々が平和に暮らせるようにしたい」という考え方を、カトリック信者のみならず、世界中の人々に広め、多くの人々の世界平和に対する意識を変えた人物であると思います。これらの献身的行動から1979年「高貴な人間愛の象徴」としてノーベル平和賞を受賞しました。

マザー・テレサは、ノーベル平和賞受賞後、日本を訪れたときに「私たちの最大の敵は無関心です」という言葉を残しています。これは、貧困問題などを解決するには、まず世界中の人々がこのような問題があることを知り、関心をもつ必要があるということです。「自分はまだ子供だから」とか、「このような問題は、政治家に任せればよい」とか考えるのではなく、自分にも関わりがある問題としてテレビのニュースを見たり、各学級に配付されている新聞を読んだりすることで、関心をもつとともに、必要最小限の知識も身に付けてほしいと思います。皆さんが大人となった頃に、このような問題に無関心の人がなくなってくれることを期待しています。

私たちの最大の敵は無関心です

地域の子供は地域で育む

9月5日（火）～8日（金）の4日間、「さわやか八戸グッジョブウィーク事業」として、2年生が地域の事業所での職場体験活動を行いました。今年度は、学年の先生方の計画により、一つの事業所に一人の生徒のみで活動することとしました。

初日の朝、学校を出発する時には、一人だけでの活動のため仲間と支え合うことができないこともあり、生徒たちはかなり緊張して不安そうな表情をしていました。しかし、2日目、3日目とほだいに表情が柔らかくなっていき、最終日にはかなり笑顔が見られるようになっていました。たった4日間の活動ではありましたが、普段の学校生活では学ぶことができない様々な体験ができ、一回り成長したようです。



第2回地域学校連携協議会

9月5日（火）に第2回島守小・中学校地域学校連携協議会が行われました。初めに、「学校が保護者や地域の皆様と一緒に取り組んだこと」や「1学期の学校評価アンケート結果」について説明し、それに対して御意見をいただきました。

今回の協議会で感じたことは、島守学区は「地域の子供は地域で育む」という理念がすでに浸透しているということです。委員の皆様のお意見から、子供たちが温かく見守られていることを強く感じました。

これからも学校・家庭・地域社会が連携して子供たちを育てていくため、協議会でいただいた御意見を大切にして、教育活動を見直していきたいと思っております。

全国学力・学習状況調査 結果

マスコミ等の報道で御承知のとおり、3年生が4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。

本校では、国語A（知識・技能を問う内容）・B（思考力等を問う内容）、数学A（知識・技能を問う内容）・B（思考力等を問う内容）のすべてが全国平均を上回っています。ただし、問題によっては正答率が低かったものもあるため分析をしっかりと行い、今後の指導に生かしていきたいと思っております。